

おもいだして いちばんさいしょの なつかしいぬくもり



かみさまとの やくそく

～胎内記憶を語る子どもたち～



出演：池川 明 / 南山みどり / 大門正幸 / 飛谷ユミ子 / かがみ知加子 ほか
製作・撮影・編集・監督：荻久保則男

制作：「かみさま との やくそく」実行委員会 / 宣伝美術：内海由 / 絵提供：佐藤友哉

2013年 / 日本映画 / 114分 / カラー

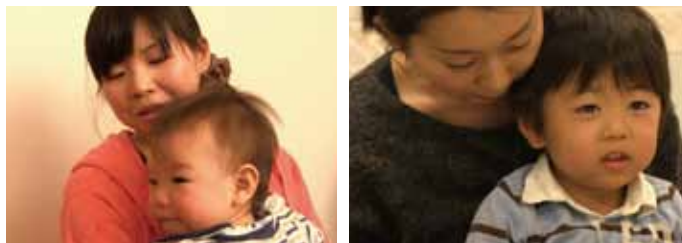
きょうは 泣くことが ゆるされる日

胎内記憶と子育ての実践、
インナー・チャイルドの癒しをテーマにしたドキュメンタリー



この映画には 音楽もナレーションもありません

胎内記憶の聞き取り調査や子育ての実践、内なる子どもへの自己肯定ワークの課程を、カメラは丁寧に見つめていきます。研究者、教育者、たいわ士（胎児やあかちゃんの通訳）が、子どもたちと真剣に向き合う姿を先入観なく、ありのままに観ていただきたいのです。そしてひとりひとりがご自身や身近な子供とたちとのつながりを考える時間を共有できたなら…そのような思いで作られた映画です。胎内記憶やインナーチャイルドのことをご存じの方も、ご存じでない方も、ありのままの映像から、ご自身の大切な何かを感じとっていただければ幸いです。



胎内記憶研究の第一人者、池上明医師。中部大学の大門正幸教授。幼児教育の専門家である飛谷ユミ子さん、かがみ知加子さん。そして、胎児や赤ちゃんの通訳である「たいわ士」南山みどりさん。子どもと向き合うスペシャリスト達の現場を体感して下さい。

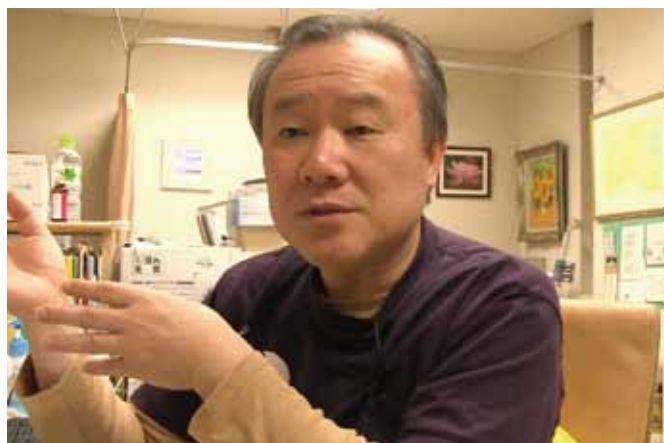
胎内記憶 (intrauterine memory)

2～3歳の子どもに聞くと、胎内のことや出産時のことを語ることがあり、これを胎内記憶と呼ぶ。胎内記憶を研究している池川明医師によると、精子だった記憶や、前世記憶、中間生記憶（受精する前の記憶）を語る場合もあるという。

インナー・チャイルド (inner child)

内なる子ども。人の精神における子どものような内面の部分。

いずれも「現代用語の基礎知識 2013」(自由国民社)より



2015年6月21日 日

上映開始

① 10:30 / ② 14:00 / ③ 19:00

チケット

大人 1,200円 (当日:1,500円)
中学生以下 800円 (当日:1,000円)

会場

松本市波田文化センター アクトホール

主催

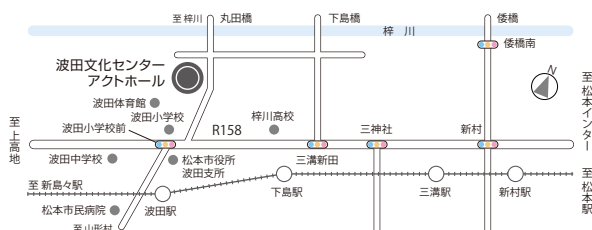
JOHS 日本オプティマルヘルズ協会

お申し込み

http://www.johs.jp/yakusoku

0263-31-0379 (北野) / 090-5822-2250 (百瀬)

0263-31-0667



〒390-1401 長野県松本市波田 10106-1

車 長野道松本ICからR158を上高地方面へ8km、約15分

「波田小学校前」信号の50m手前を右折、200m左側

電車 JR松本駅から松本電鉄上高地線で波田駅まで25分、波田駅から徒歩10分

※ 前売り券は指定回のみご入場いただけます(満席の場合当日券は販売致しません)。
※ 開場は上映開始の30分前からとなります。
※ 小学校3年生以下のお子様はご入場になれません。